

# 大阪・関西万博を契機としたインフラについて

---

2026年2月26日

近畿地方整備局長 齋藤 博之

# 大阪・関西万博を契機としたインフラについて

○大阪・関西万博を契機として、臨海部へのアクセスルート整備等、インフラ整備を進めています。

○大阪・関西万博には、世界中の多くの方が訪れ、日本館にも来訪されました。GREEN × EXPO2027でも大阪・関西万博の成果を活用していきます。

## 大阪湾岸道路西延部(整備中)



## ③ 夢洲(荷さばき地の拡張) (整備中※万博開催時一部本格運用)



## ④ 日本館(大阪・関西万博)



## ① 淀川ゲートウェイ(R7年3月開通)



## ② 淀川左岸線(2期)完成イメージ (整備中※万博開催時暫定活用)



## ⑤ GREEN × EXPO 2027



# ①防災インフラの平常時利活用(淀川舟運による地域の賑わいづくり)

- 淀川では、災害時に船で復旧資材の輸送等が行えるよう、緊急用船着場や淀川ゲートウェイを整備。
- 万博期間中は、舟運を活用した各種イベントや、万博来場者輸送などの社会実験を実施。
- 引き続き、平常時には淀川舟運による地域の賑わいづくりを推進。

1995.1 阪神淡路大震災

堤防の被災状況

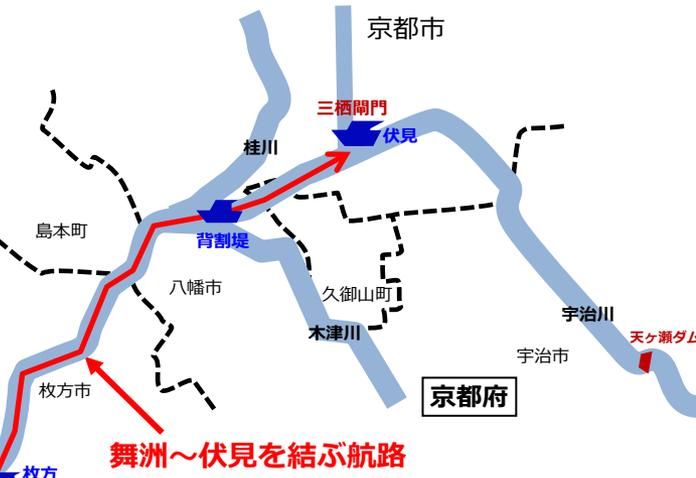


地震発生後の陸上交通麻痺

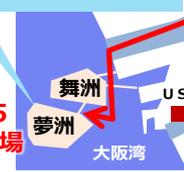




船舶を活用した堤防の復旧工事を実施




大阪・関西万博後の夢洲では、2030年秋頃の開業を目指し大阪IR事業が進められている



2025 万博会場 夢洲

<凡例>  
 船着場



# ②淀川左岸線2期 万博アクセスルートとして暫定活用

- 淀川左岸線（2期）は、大阪都市再生環状道路の一部（約4.3 km）を構成するものであり、令和14年度に供用予定。
- 万博開催期間中、区間毎に整備状況は異なるものの、新大阪駅や大阪駅と万博会場を結ぶシャトルバス、タクシーのアクセスルートとして暫定的に活用。**
- 大阪市内中心部を経由するルートと比較し**16分の短縮を実現（35分⇒19分）。**

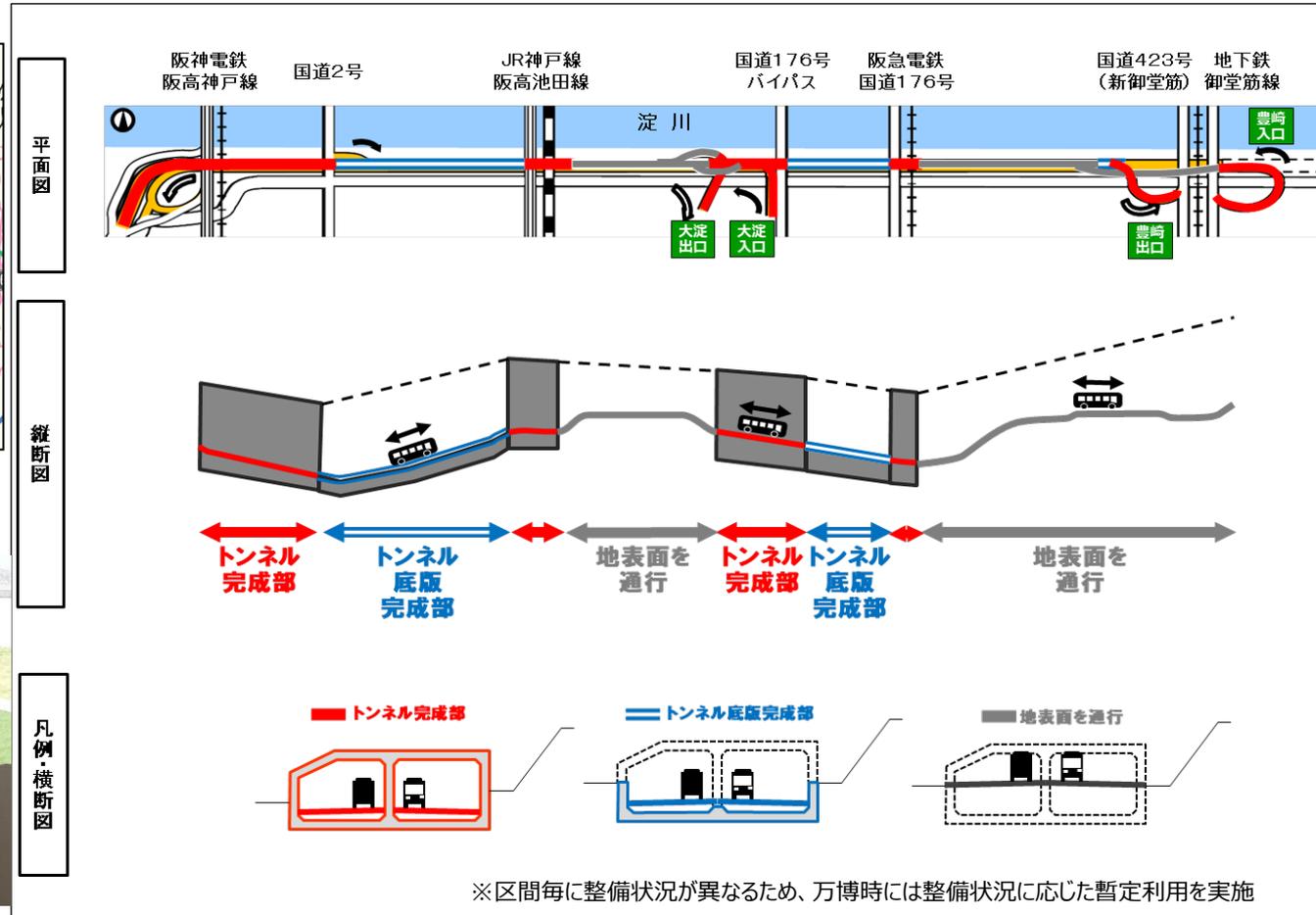
## 【位置図】



## 【淀川左岸線（2期）完成イメージ】

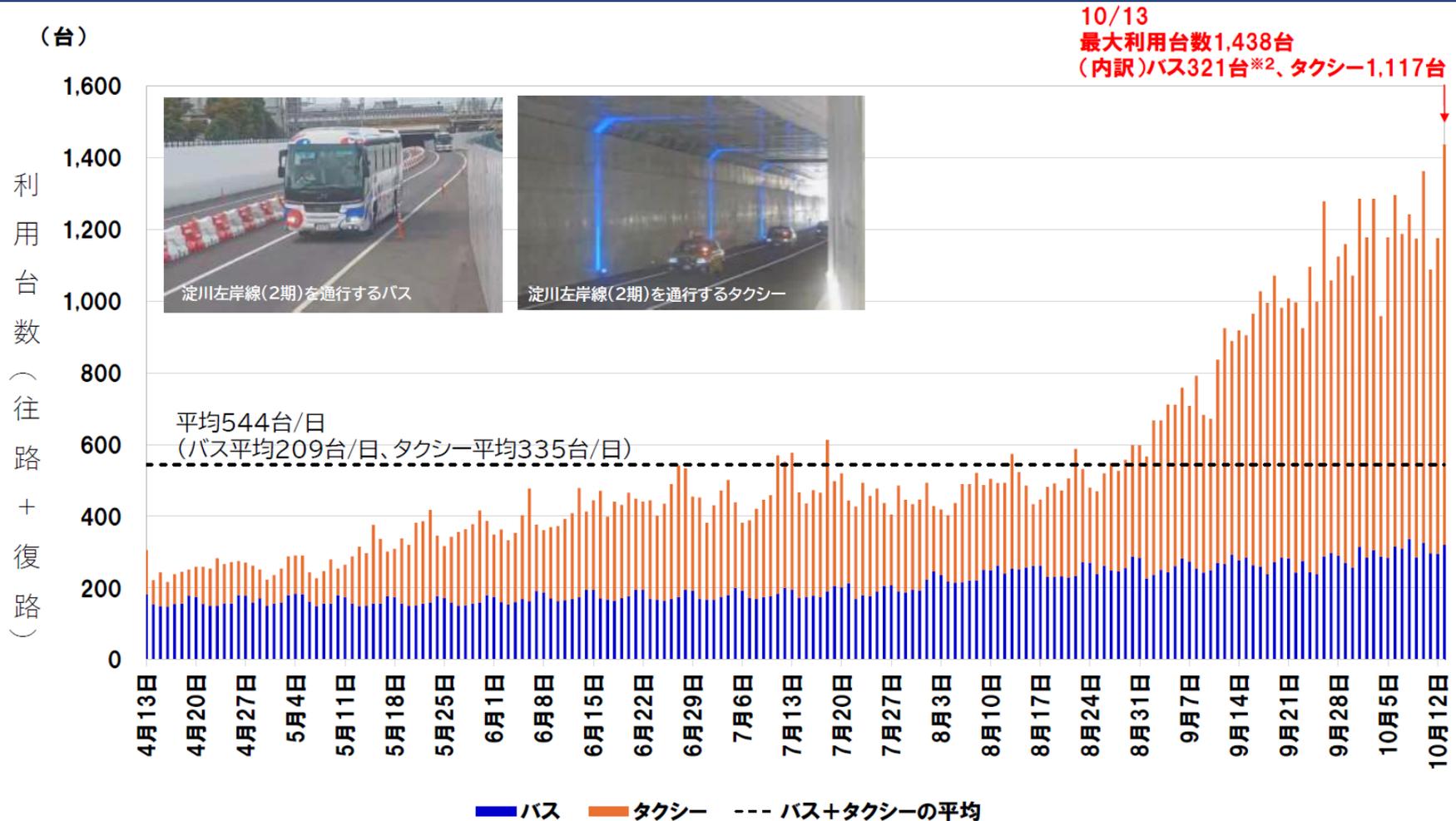


## 【万博開催期間中における淀川左岸線（2期）の暫定利用形態】



## ②淀川左岸線2期 万博開催時の日別利用台数

- 万博開幕当初の利用台数は低調であったが、**9月以降はタクシーの利用が大幅に増加**。
- 平均544台/日**（バス209台、タクシー335台）、**最大は閉幕日の1,438台**（バス321台、タクシー1,117台）が利用。



※1 「万博会場の向かう台数」と「万博会場からの帰りの台数」の合計で整理。  
 ※2 バスの最大値は、10/8の337台。

データ提供：大阪市建設局

# ③ 夢洲等における交通インフラ整備

- 大阪・関西万博の準備・開催期間における夢洲地区への交通流入による、夢洲コンテナターミナルの港湾物流機能への影響を生じさせないため、夢洲周辺における交通インフラを整備。
- 万博閉幕後も交通インフラの活用により、夢洲コンテナターミナルの効率化や取扱貨物量の増加を図る。

**舞洲東交差点立体交差化、常時左折可**  
 [南から北方向] [西から東方向]

**此花大橋(4車線→6車線)**

**夢舞大橋(4車線→6車線)**

**高架橋(2橋)**  
 [北高架橋 西から東方面] [南高架橋 西から東方面]

**幹線道路(4車線→6車線)、コンテナターミナル背後道路拡幅**

**荷捌き地の拡張(ゲート増設)**

**鉄道(南ルート)**

**車両待機場の整備**  
 [夢洲内 計670台]

**CONPAS(※)の導入**  
 令和6年3月 運用開始

**万博会場(約155ha)**

**舞洲**

**夢洲**

**夢洲コンテナターミナル**

**咲洲**

○国による整備  
 ○大阪市による整備

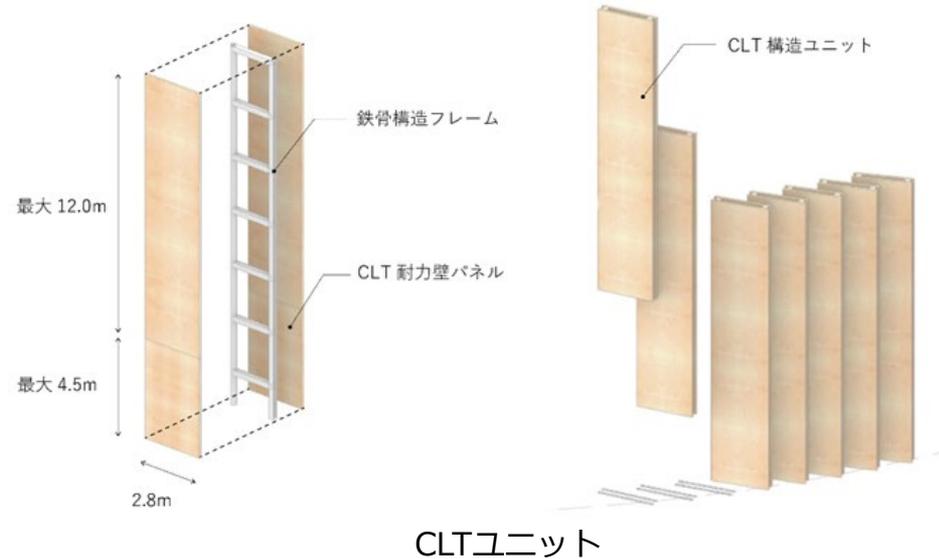
※コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発したシステム

## ④大阪・関西万博日本館 取り組みと今後の活用(CLT)

- 日本館では、木材利用促進のため、CLT(Cross Laminated Timber)を象徴的に使用。
- CLTは、公募により選定された「CLT活用推進パートナー」から貸与を受け、会期後、解体して返却。
- 解体しやすいように設計(CLTの接合部には接着剤等は用いず、ビスやボルトなどによる乾式接合のみ)。



日本館外観（正面）



- 現在、解体工事を進めており、貸与されたCLTをこれから丁寧に取り外していく予定。
- 返却したCLTは、公募で選定された「CLT再利用パートナー」に提供され、各地で再利用される予定。



# ⑤ GREEN×EXPO 2027による大阪・関西万博の成果の活用

## 大阪・関西万博からGREEN×EXPO 2027へバトンタッチ



2025年日本国際博覧会「閉会式」での  
BIE（博覧会国際事務局）旗の引渡  
（令和7年10月13日） ©Expo 2025



官邸で行われたミクミクの離任式  
（令和7年10月14日）  
出典：国土交通省ホームページ

## 開催へ向けた準備を着実に推進



日本政府出展起工式（高市内閣総理大臣らがお出席）  
（令和7年11月2日）  
出典：国土交通省ホームページ

## 大阪・関西万博の資源を活かしたGREEN×EXPO 2027における出展



GREEN×EXPO 2027 東邦レオ株式会社 STUDIO（仮称）  
出展：東邦レオ株式会社（PR TIMES）



2025年大阪・関西万博 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」  
出典：パナソニックグループホームページ



木造タワー「KAJIMA TREE」  
出展：鹿島建設株式会社ホームページ

東邦レオ株式会社は、パナソニックホールディングス株式会社および有限会社永山祐子建築設計との協業により、2025年大阪・関西万博のパナソニックグループパビリオン「ノモの国」のファサード（鉄のフレーム、約736個）と照明（40台）、スピーカー（12台）、ミスト設備を東邦レオ出展エリアにおいてリユース。（令和7年7月29日時点）

鹿島建設株式会社は、木造タワー「KAJIMA TREE」を出展。「KAJIMA TREE」は、大阪・関西万博の大屋根リングで使用された木材を利用。 ※鹿島は大阪・関西万博の大屋根リングで使用された木材の契約候補者（令和7年10月29日時点）

本日（2/26）は開幕まで386日！！